

主に在る世界のバプテストの兄弟姉妹へ

私たちは、同じバプテストの信仰に立つものとして、全世界に対する福音のわざのために、BWAを通して、互いに課題をわかちあい、祈り、励まし、協力しあうように招かれていることを心から感謝し、よろこんでいます。

今日、日本バプテスト連盟に属する私たちは、世界の多くの人びとと共に、とくに「核」の廃絶と平和の実現について、切なる思いをもって祈らされています。

今年6月に開かれた第2回国連軍縮特別総会にむけて、核兵器の全面禁止と軍備縮少の早期実現を願う声が、かつてないきおいで世界を動かしたことは周知の通りです。

世界が、「核」の脅威のもとに自然を失い、生命をおびやかされ、人類存亡の危機に類していることはまぎれもない事実であり、その脅威を除去することは、すべての人に課せられた崇高な使命であり、責任であるといわねばなりません。

私たちは、人間のいのちが神から賦与された、かけがえのないものであり、平和の実現こそが、イエス・キリストによってあらわされた神の御旨であることを信じるものとして、神の創造のみわざにさからって、いのちをそこない、平和をさまたげる、あらゆる「核」の廃絶を強く訴えます。

私たちは、戦争の恐ろしさを経験し、また、核による悲惨を味いました。私たちは、それが、神の御旨に反した、私たち人間の罪の結果であることを、深い悔改めをもって告白するとともに、世界が、戦争の恐るべき惨禍と悲惨な破滅から救われるために、祈り、また、あらゆる努力を傾けてゆく決意を表明します。

私たち日本のバプテストは小さな群にすぎません。しかし、十字架の主に従うものとして、愛と平和を追い求め、その実現のために働きたいと願っています。私たちを取囲む状況はきわめて深刻です。しかし、私たちの望みはイエス・キリストにあります。また、同じ心で結ばれた世界中のバプテストの兄弟姉妹の共同の祈りと働きに大きな期待を抱いています。

「平和の主」のみ心が行われるために、どうか同じ思いとなり、同じ愛の心を

もち、心をあわせて祈り続けて下さいますように、心からの尊敬と愛をこめてお願い致します。

御国がきますように、み心が天に行われるとおり、地にも行われますように。

1982年8月20日

日本バプテスト連盟

第36回年次総会